
平成30年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成30年3月2日

質問者（質問順）

- 1 大岩真善和 委員（民進党）
- 2 斉藤伸一 委員（公明党）
- 3 荒木由美子 委員（共産党）
- 4 伏見幸枝 委員（自民党）

経 済 局

局 別 審 査

1 大 岩 真善和 委員（民進党）

1 数値に基づいた経済政策の推進について

- (1) 「GDPの伸び率」、「雇用数の増加」、「女性の就業数」や「投資額やその効果」など経済局全体としての明確な目標を定めて、その実績管理をしっかりと行っていくべきではないか。
- (2) 3年連続で、横浜市の経済成長率が全国平均を下回っている現状をどのように分析しているのか。そして、それに対する対策をどのように考えているのか。
- (3) 明確な数値目標（GDPや雇用、新規企業数など）をKPI（重要行政評価指標）と設定した上で、経済再生ビジョンを作成すべきではないか。

2 IoT推進産業活性化事業について

- (1) IoTの中で、深掘りや注力をする分野が必要であると考えが見解を伺いたい。
 - (2) I・TOP横浜の事業について、目標数値を定めていくべきではないか。
 - (3) IoTに精通している公益財団法人横浜企業経営支援財団（以下「IDEC横浜」という。）のコーディネーターの知見を政策に活かしていくべきと考えるが、コーディネーターの位置づけと業務内容について伺いたい。
 - (4) 大企業だけでなく市役所の仕事も、AI産業へ開放するなどによって、AI産業振興を強力に押し進めていくべきではないか。
- (要望) 今後の産業発展には、AIの活用が欠かせない。市役所が積極的にAIへの取組を促すことを要望したい。

3 ライフイノベーションの推進について

- (1) LIP. 横浜のマッチングイベントのこれまでの成果と今後の目標について伺いたい。
- (2) サンディエゴのバイオクラスターをベンチマークとしたうえで、本市の現状

と比較して何が足りないと認識しているのか。また、それに対してどのように対応すべきと考えるか。

(3) サンディエゴのように産業集積を図り、産官学のネットワークを整備し、それらをビジネスポテンシャルとして取りまとめた資料を作成し、海外からの企業誘致などに活用すべきではないか。

(要望) これまで築いたネットワークをベースに、国際局など関連部局とも連携して、より密な関係を構築していただくことを要望したい。

4 次世代産業創出事業について

(1) 横浜ならではの、次世代産業の創出に向けた取組の特徴について伺いたい。

(2) 市内に点在しているフューチャーセンターや企業が連携し、点が線になり面になっていくようなつながりを作っていくべきではないか。

(3) どのようにイノベーションを生み出す官民連携のコミュニティを構築していくのか。

(4) ベンチャー投資家をどのように呼び込み、投資額をどのように増やしていくのか。また、ベンチャー企業の集積数など、取組目標をどのように設定するのか。

(5) 企業立地促進施策を広く捉え、大学を誘致するためのインセンティブについても検討すべきではないか。

(要望) 次世代産業創出事業については、是非早期に形にしていただき、世界に誇れるものにしていただくことを要望したい。

5 M I C E 関連産業強化学業について

(1) M I C E 関連産業強化学業の目的と取組内容について伺いたい。

(要望) 産業視察ツアーの実施の中では、地元商店街への視察もコースに入れていただくことを要望したい。

(2) コンベンションの企画運営を行う企業（P C O）を、市内でも育てていくべきではないか。

(3) 本市のM I C E 振興について、産業振興の視点からM I C E 誘致を行うべき

ではないか。

(要望) 産業振興につながるMICEを誘致し、その経済効果が市内に十分波及するよう、経済局が積極的にMICE振興策に取り組むことを要望したい。

6 商店街振興について

(1) 商店街のエリアごと、地域ごとの実情やニーズをどのように把握しているのか。

(2) 経済局が用意したメニューに手を挙げるのではなく、各商店街が実情に応じ、自発的に活性化に取り組んでいくことが重要との視点にたって、今後どのような取組を行うのか。

(3) インバウンド効果を狙うために、いくつかの商店街についてモデル的にプロモーションを行い、その好事例を他の商店街に見てもらい、波及効果を狙うべきではないか。

(4) 港湾局や文化観光局と連携し、観光クルーズ船の観光客を商店街に誘導すべきではないか。

2 齊藤伸一委員（公明党）

1 中小企業の支援について

(1) 中小企業経営総合支援事業について

- ア IDEC横浜の相談対応の実績について伺いたい。
- イ 企業訪問で聞いている声について伺いたい。
- ウ IDEC横浜の地域密着型支援の取組内容について伺いたい。
- エ 経済局職員の人材育成の取組内容について伺いたい。
- オ 経済局職員が意欲的に業務に取り組むための組織運営について伺いたい。

(2) 多様で柔軟な働き方について

- ア ワークスタイル相談事業はどのように行っているのか。
- イ 今後の相談窓口のPRや相談対象企業確保への取組について伺いたい。

(3) 健康経営の推進について

- ア 健康経営普及啓発の29年度の取組状況について伺いたい。
- イ 健康経営を市内企業へ普及啓発していく上での課題について伺いたい。
- ウ より効果的な普及啓発に向けた30年度の工夫について伺いたい。
- エ より多くの関係者と連携しながら健康経営の推進に取り組むことが効果的と考えるが見解を伺いたい。

(4) 人材確保支援について

- ア 中小企業の人材確保に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- イ 30年度予算における新たな人材確保支援の内容について伺いたい。

(5) 事業承継支援事業について

- ア 29年度の取組内容について伺いたい。
- イ 事業承継する上での課題について伺いたい。
- ウ 30年度の取組内容について伺いたい。

(6) 関係機関との連携などを踏まえたIDEC横浜の中小企業支援の取組について伺いたい。

2 「運ぶ」を切り口とした商店街振興の取組について

- (1) 「商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業」の目的について伺いたい。
- (2) 「商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業」が想定する取組について伺いたい。
- (3) 「商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業」の期待される効果について伺いたい。

3 シニアの活躍について

- (1) シニアの就労を促進する新たな取組内容について伺いたい。
- (2) シニアの起業支援の取組内容について伺いたい。
- (3) シニアの活躍に係る庁内連携の取組について伺いたい。

3 荒木由美子 委員（共産党）

1 中小企業の支援策について

- (1) 市内企業の景気動向と中小・小規模企業における景気動向はどうか。
- (2) 中小・小規模企業に景気の良さが反映されていない理由について伺いたい。
- (3) 中小企業の自社業況BSIは低下する見通しとなっているが、これは、実質賃金や家計消費が減少していることが影響しているのではないか。
- (4) 民間就職サイトの活用やホームページの充実のアドバイス、就職フェアへの出展支援は良いが、それに係る経費や手続についてはなるべく負担がないようにすべきではないか。
- (5) 融資を除くと、企業立地促進条例による助成事業の予算が25億円もあり、資本力のある大企業に助成するより、中小企業の施策に振り向けることが必要と考えるが見解を伺いたい。
- (6) 資本力のある大企業に対し助成した効果があるのか。
- (7) 企業立地促進条例の改正に当たって、企業側のニーズをリサーチしたのか。
- (8) 企業誘致により、市内雇用が増えたと言っているが、その中で、市民がどれだけ雇用されたか分析しているのか。
- (9) もともと市内に立地していた企業を認定した場合、条例認定によって、増加した市民雇用者数は把握できるのか。
- (10) 企業立地促進条例で認定している企業の市内企業への発注状況を、どう分析しているのか。
- (11) 企業立地促進条例で認定した企業の発注状況について、丁寧に分析するべきではないか。

2 商業振興策について

- (1) 個店の活力向上事業の目的と助成額、手続について伺いたい。
- (2) 個店の活力向上事業の28年度と29年度の実績と補助金額について伺いたい。

- (3) 個店の活力向上事業の利用者は、横浜市の店舗数からするとあまりにも少ないのではないかと。
- (4) 個店の活力向上事業の周知方法について伺いたい。
- (5) 個店の活力向上事業の利用者は、党市議団が調査した他都市の実績と比較しても少ないため、応募条件を下げ、個店を営む事業者が利用しやすくすべきではないかと。
- (6) 29年度に実施した商店街の商圈調査結果の活用方法について伺いたい。
- (7) 商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業の進め方について伺いたい。
- (8) 南区のように山坂が多く単独世帯が多い地域では、消費量が小さく、商店は売上が期待できず、利益も少ないため、補助金なしにモデル事業を継続することが難しい。この点をどう考えるのか見解を伺いたい。

3 職業訓練事業について

ひとり親などの優先枠と一般枠の定員に対する申込者数はこの3か年どうなっているか。また、一般枠において、定員を超える申込みが続いているようだが、定員を増やす考えはないのか見解を伺いたい。

(要望) 横浜市の職業訓練校のニーズは高まっているが、現在の施設では、定員を増やすことは限界であると聞いているので、是非、新しい場所を増やすことを要望したい。

4 伏見幸枝委員（自民党）

1 経済局の予算編成の考え方について

30年度の予算編成の考え方について伺いたい。

2 中小ものづくり企業の生産性向上に向けた支援について

(1) 29年度の中小ものづくり企業の生産性向上への具体的な支援について伺いたい。

(2) I o T 導入促進に向けた課題について伺いたい。

(3) I o T 導入を進めるに当たっての今後の支援策について伺いたい。

(4) 生産性向上特別措置法への対応の方向性について伺いたい。

(要望) 市内の中小企業の皆様が、こうした国の制度も活用できるよう、しっかりと対応していただくことを要望したい。

3 女性の活躍支援について

(1) 中小企業における女性活躍に対する課題認識について伺いたい。

(2) 女性活躍推進助成金の実施状況について伺いたい。

(3) 中小企業女性活躍推進事業の30年度の実施について伺いたい。

(要望) 引き続き、市内中小企業における女性活躍を支援していただくことを要望したい。

4 創業支援について

(1) 「スタートアップサポートヨコハマ」の開設に当たり工夫した点について伺いたい。

(2) 「リーディングベンチャープラザ」の施設概要について伺いたい。

(3) 「リーディングベンチャープラザ」の入居期間が満期を迎えた企業に対する支援について伺いたい。

5 多様なパートナーとの連携による魅力ある商店街づくりについて

- (1) 専門学校及び中区と連携した取組の進捗状況について伺いたい。
- (2) 企業等との連携状況について伺いたい。
- (3) 商店街活性化のための区・局・事業者等連携事業の今後の取組について伺いたい。

6 技能職の振興について

- (1) これまでの技能職振興に係る取組について伺いたい。
- (2) 技能継承の30年度の取組について伺いたい。
- (3) オリンピック等も見据えた今後の技能職振興の方向性について伺いたい。

7 就職面接会による人材の確保について

- (1) これまでの就職面接会の開催状況について伺いたい。
- (2) アンケートにおける企業や求職者の意向について伺いたい。
- (3) 特に人手不足が顕著な業種への対応について伺いたい。
- (要望) 引き続き、多くの人材を確保していただくことを強く要望したい。

8 青果部活性化事業について

- (1) 青果部を取り巻く課題について伺いたい。
- (2) 青果部活性化に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 青果部活性化事業の概要及びスケジュールについて伺いたい。
- (4) 横浜市場のさらなる活性化には、本場周辺のにぎわいづくりが重要ではないか。

9 南部市場跡地活用事業について

- (1) 事業期間中の収支について伺いたい。
- (2) 出店するテナントの店舗構成について伺いたい。
- (3) 開業に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

10 内陸部工業集積地域における操業環境の向上について

- (1) この10年間における内陸部工業集積地域の土地利用の変化について伺いたい。
- (2) 内陸部工業集積地域における操業の維持や環境の向上に向けた取組について伺いたい。

11 企業誘致の推進について

- (1) 30年度の企業誘致の進め方について伺いたい。
- (2) 東京プロモーション本部内に設置した企業誘致担当の活動について伺いたい。
- (3) ビジネスエリアとしての関内の活性化に向けた考え方について伺いたい。